

2023 年度 松商短期大学部卒業時アンケート結果報告書

1. アンケートの趣旨・目的

学生目線から大学教育や学びの実態を把握し、大学の教育改善など様々な用途に活用することを目的として実施している。

2. 概要

対 象：2024 年 3 月 卒業生 211 名

実 施 期 間：2024 年 1 月 24 日(水)～2 月 2 日(金)

実 施 方 法：WEB アンケート(Microsoft Forms)

有効回答数：184 名 (有効回答率:87.2%)※同一の選択肢を 100%選択している場合は、無効回答として扱った

3. 設問項目

- ・選択必修科目での出席レポートは、学生としてのあなたの能力を伸ばす役に立ちましたか
- ・1 年次の「専門ゼミナール I」(第 2 学期)の中で行われた初年次教育(ノートの取り方、テキストの読み方、要約の仕方、図書館の利用、レポートの作成など)の内容は、その後の授業で役に立ちましたか
- ・所有しているノートパソコンは学修に利用しましたか
- ・ゼミナール担当者はあなたの学生生活の良きアドバイザーでしたか
- ・大学の各部署・サポートセンターの情報発信や対応、支援はどうでしたか
- ・課外活動について、それぞれ満足度を教えてください
- ・アルバイト、地域に関連した活動についてどの程度行ったか教えてください
- ・短大で身に付いたと思う能力や態度を教えてください／短大で身に付けたかと思う能力や態度を教えてください
- ・松商短大の DP(学位授与方針)①～③について、ご自身の達成度を教えてください
- ・あなたは卒業後の進路に満足していますか
- ・短大生活全体について、以下の点を教えてください(4 項目)

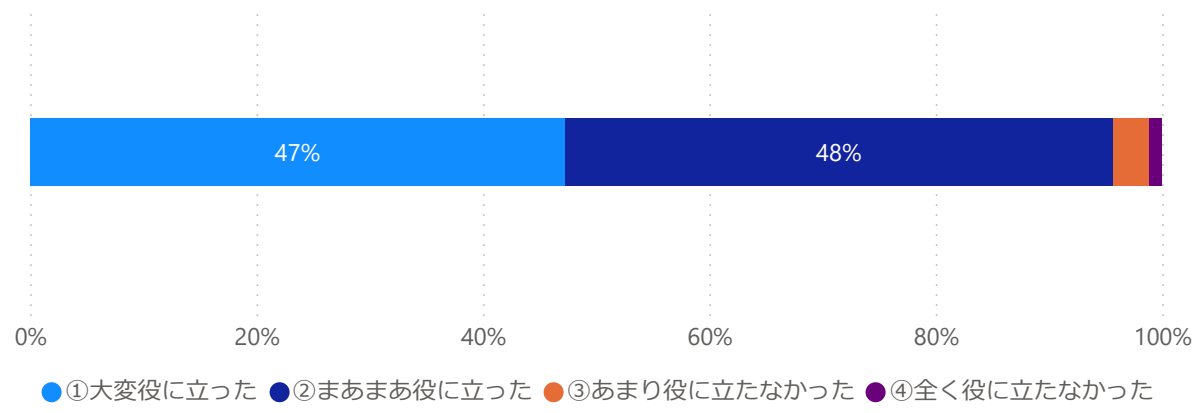
4. 結果の要約

短大生活全体や教育内容、サービスについては、概ね 9 割を超える高い満足度が得られたことが確認できた。松商短大 DP の達成度では、前年度と同様に 9 割を超える高い結果となり、DP の育成と評価を意識した教育が順調に効果を発揮していることが確認された。

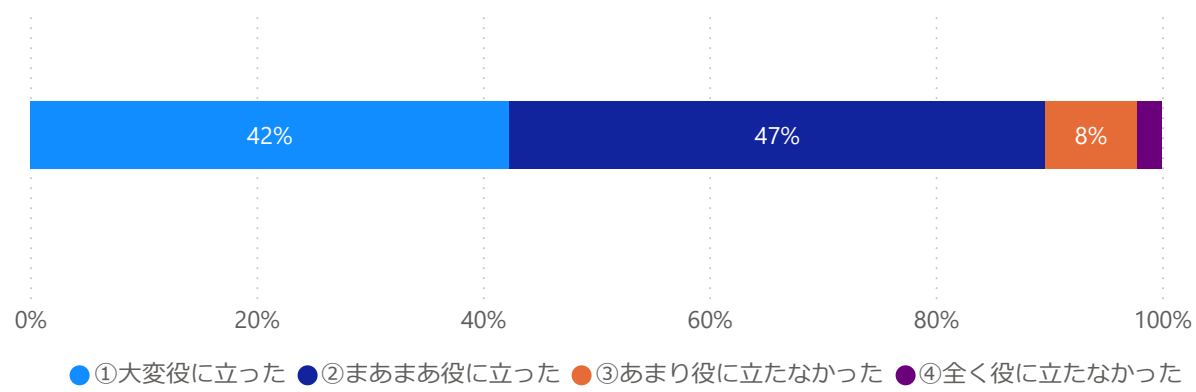
また、学修成果に関する設問では、短大 DP でも挙げられている「知識や技術」に関連する能力について、7 割を超える学生が身に付いたと回答し、さらに能力を高めたいという学生も多数確認できた。

| 学科 | 回答者数 | | |
|--------|------|----|-----|
| | 女性 | 男性 | 合計 |
| 商学科 | 69 | 25 | 94 |
| 経営情報学科 | 63 | 27 | 90 |
| 合計 | 132 | 52 | 184 |

Q.選択必修科目での出席レポートは、学生としてのあなたの能力を伸ばす役に立ちましたか。

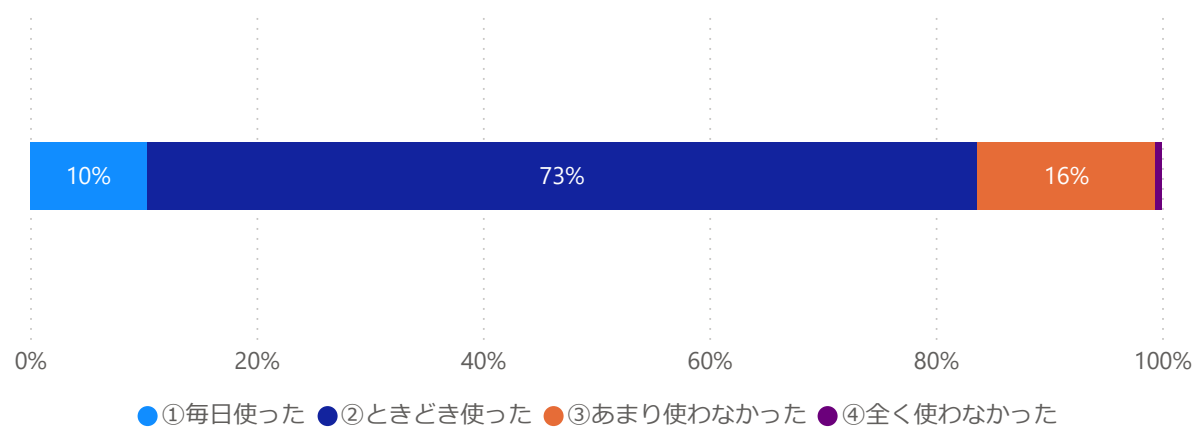


Q.1年次の「専門ゼミナールⅠ」（第2学期）の中で行われた初年次教育（ノートの取り方、テキストの読み方、要約の仕方、図書館の利用、レポートの作成など）の内容は、その後の授業で役に立ちましたか。



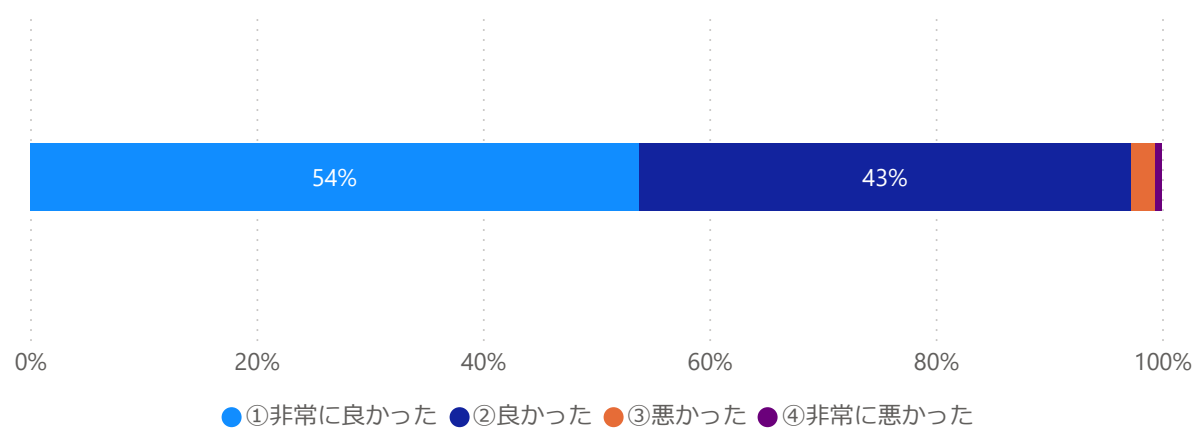
Q.所有しているノートパソコンは学習に利用しましたか。

ノートパソコンの使用頻度



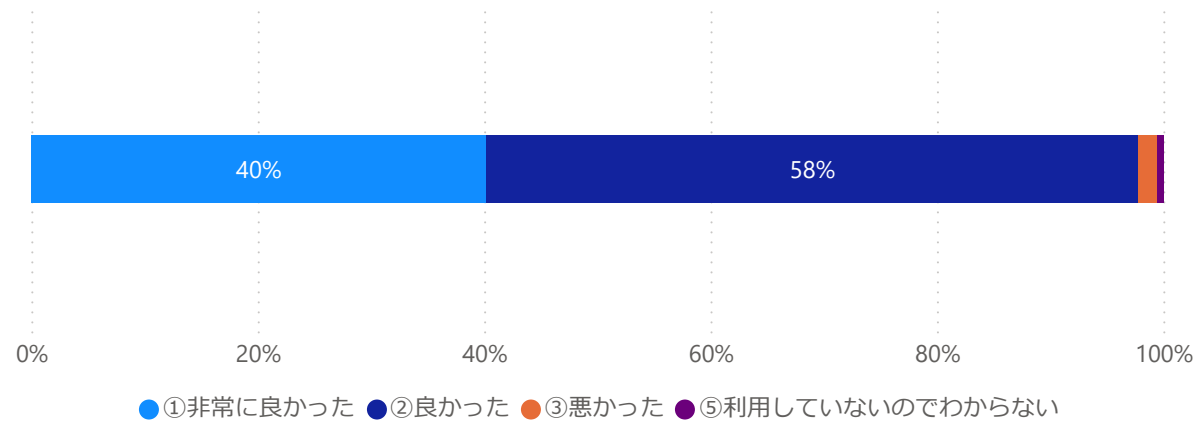
Q.ゼミナール担当者はあなたの学生生活の良きアドバイザーでしたか

ゼミナール担当者

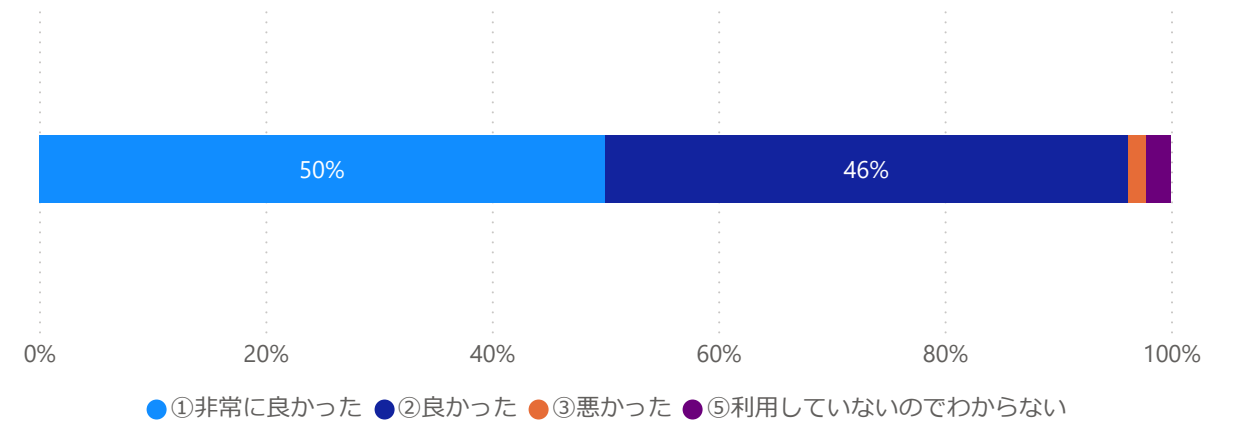


Q. 各部署・サポートセンターの情報発信や対応、支援はどうでしたか。

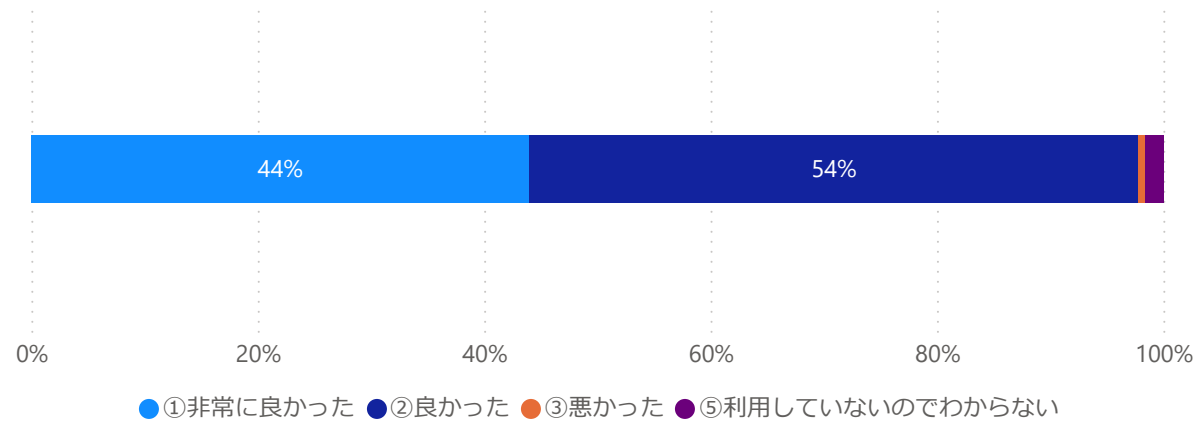
教務課



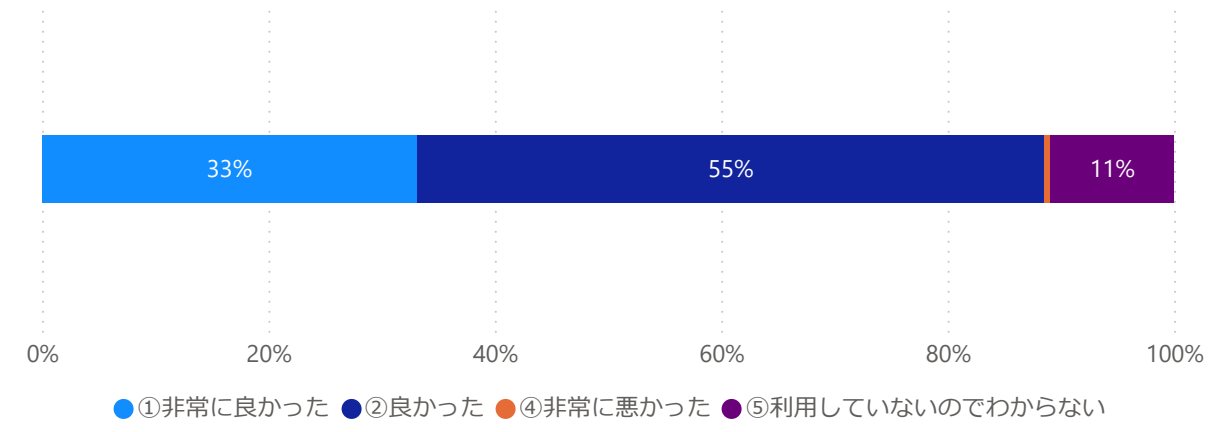
キャリアセンター



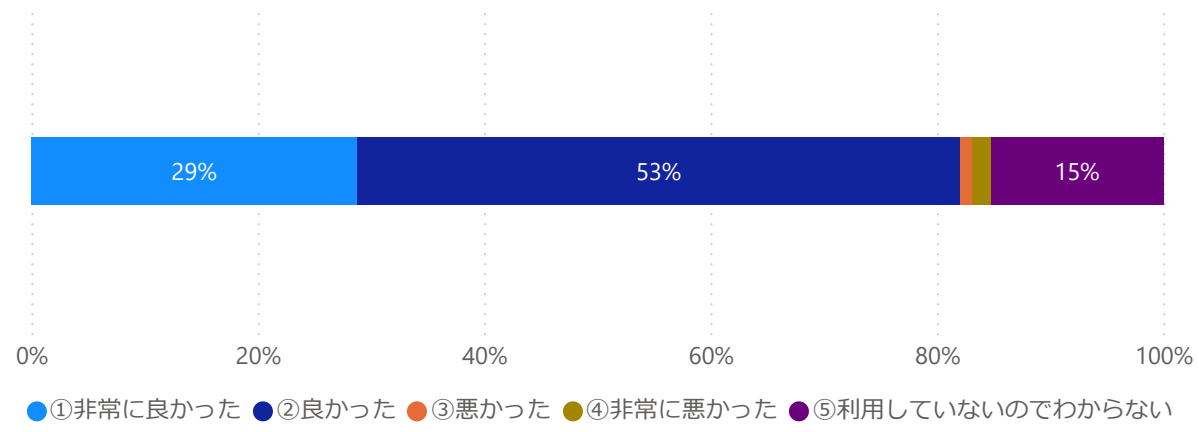
学生課



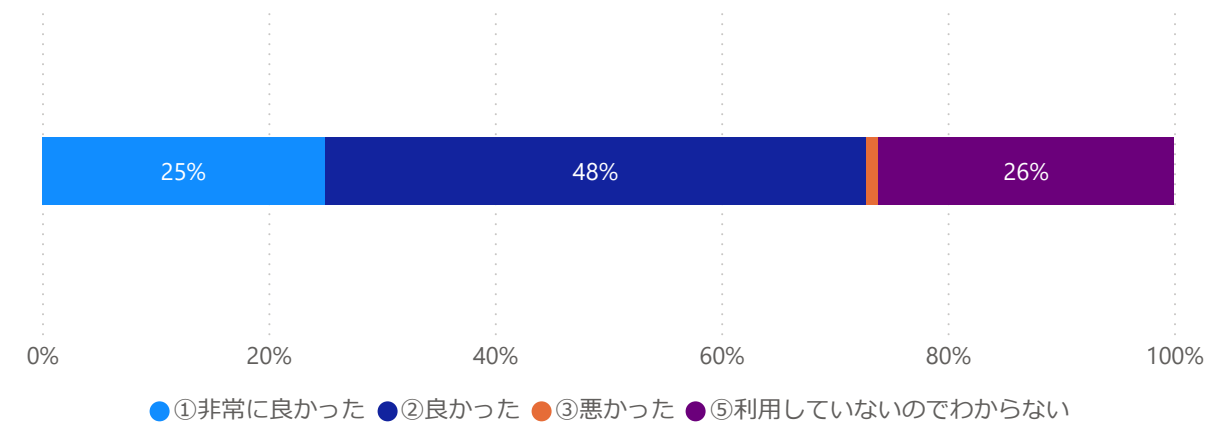
情報センター



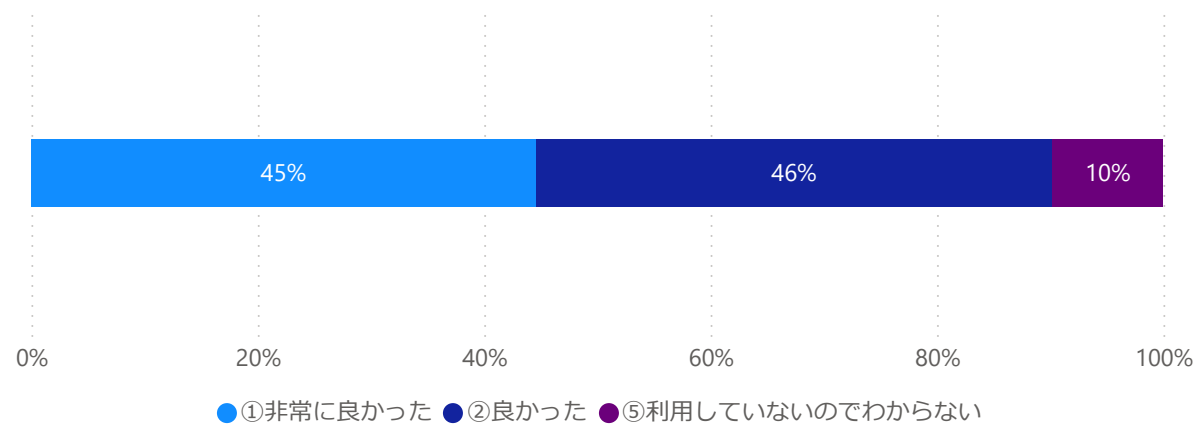
健康安全センター



基礎教育センター

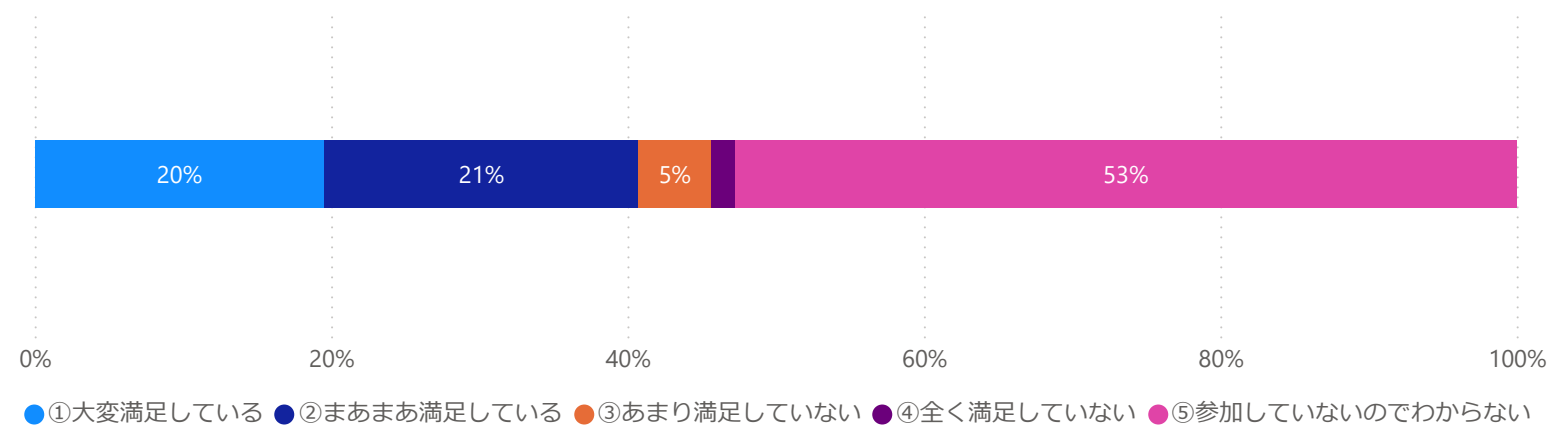


図書館

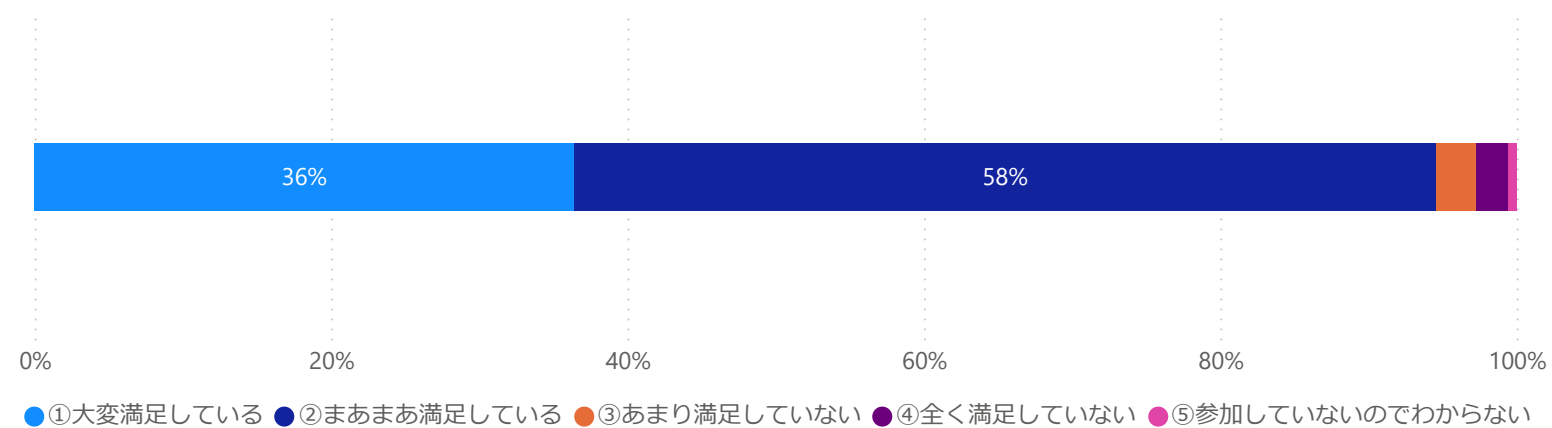


Q. 以下の課外活動について、それぞれ満足度を教えてください

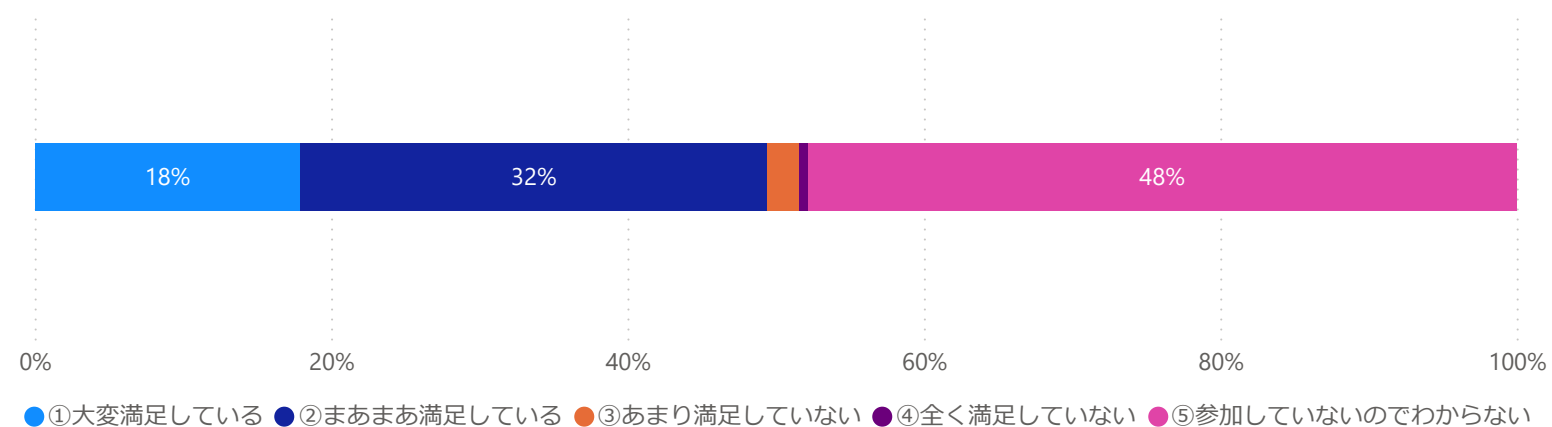
部活・サークル



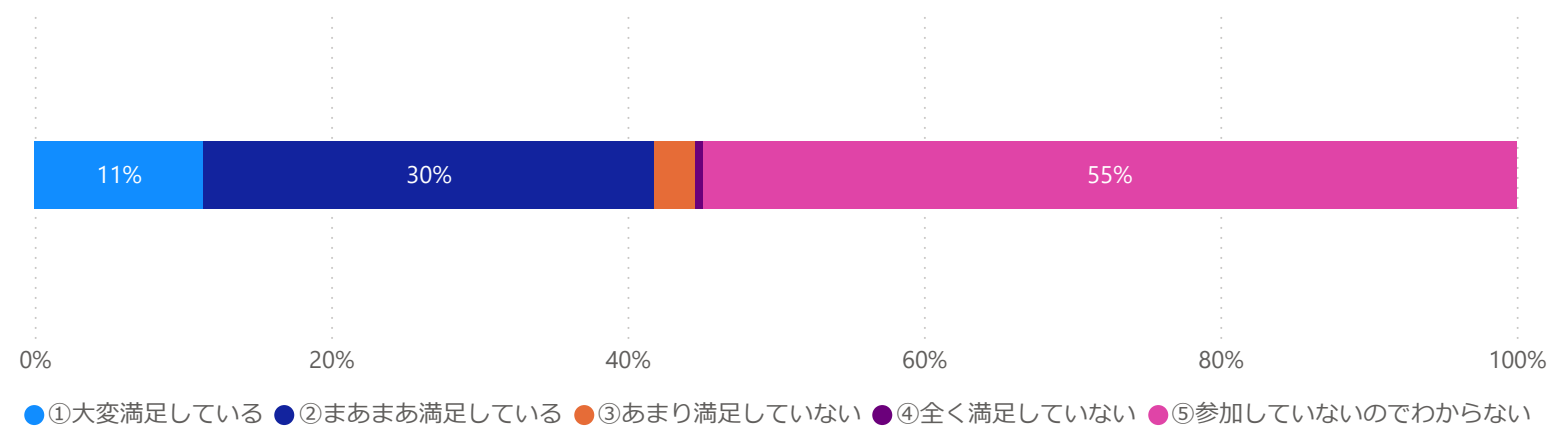
行事（大学祭・体育大会・各種イベント）



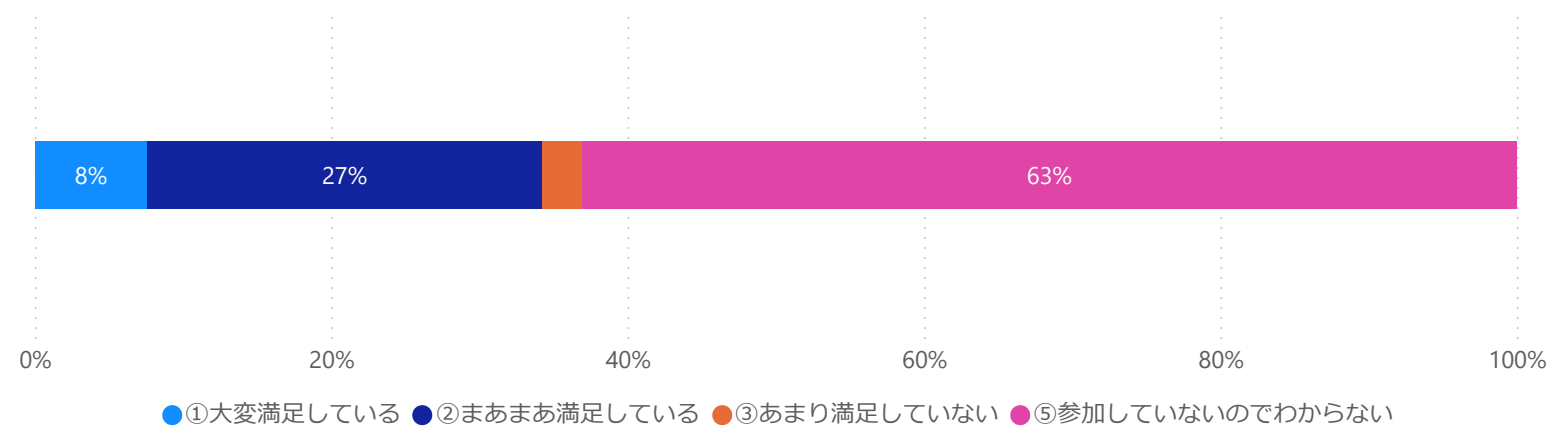
学友会役員活動



マツナビの活動

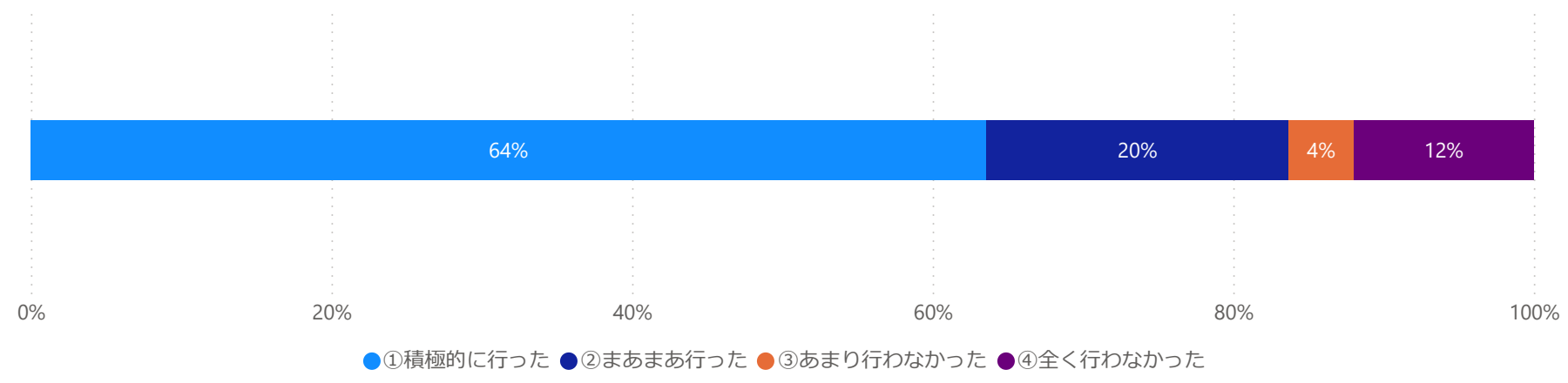


地域づくり考房『ゆめ』の活動

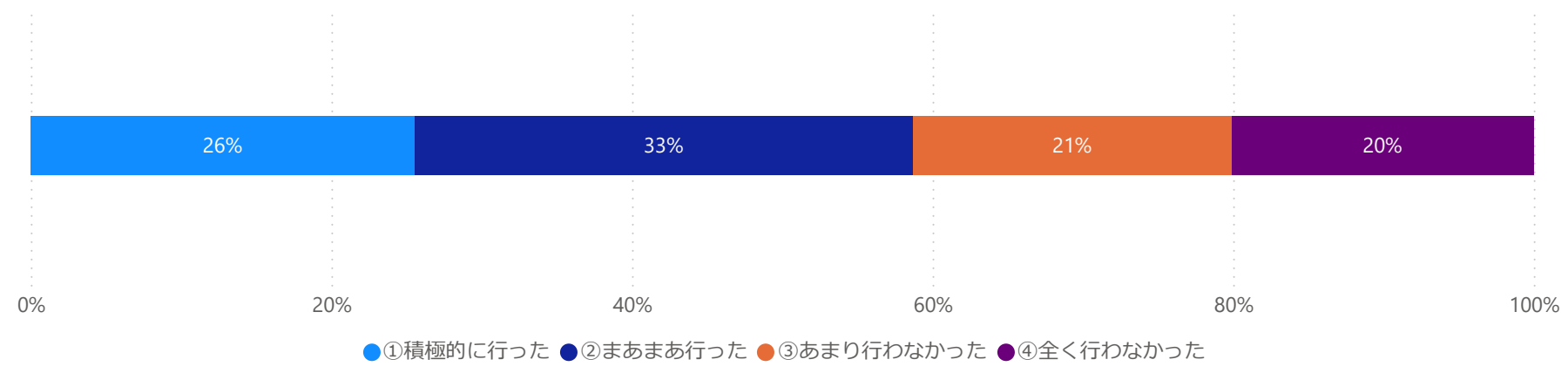


Q. 以下の活動についてどの程度行ったか教えてください

アルバイト

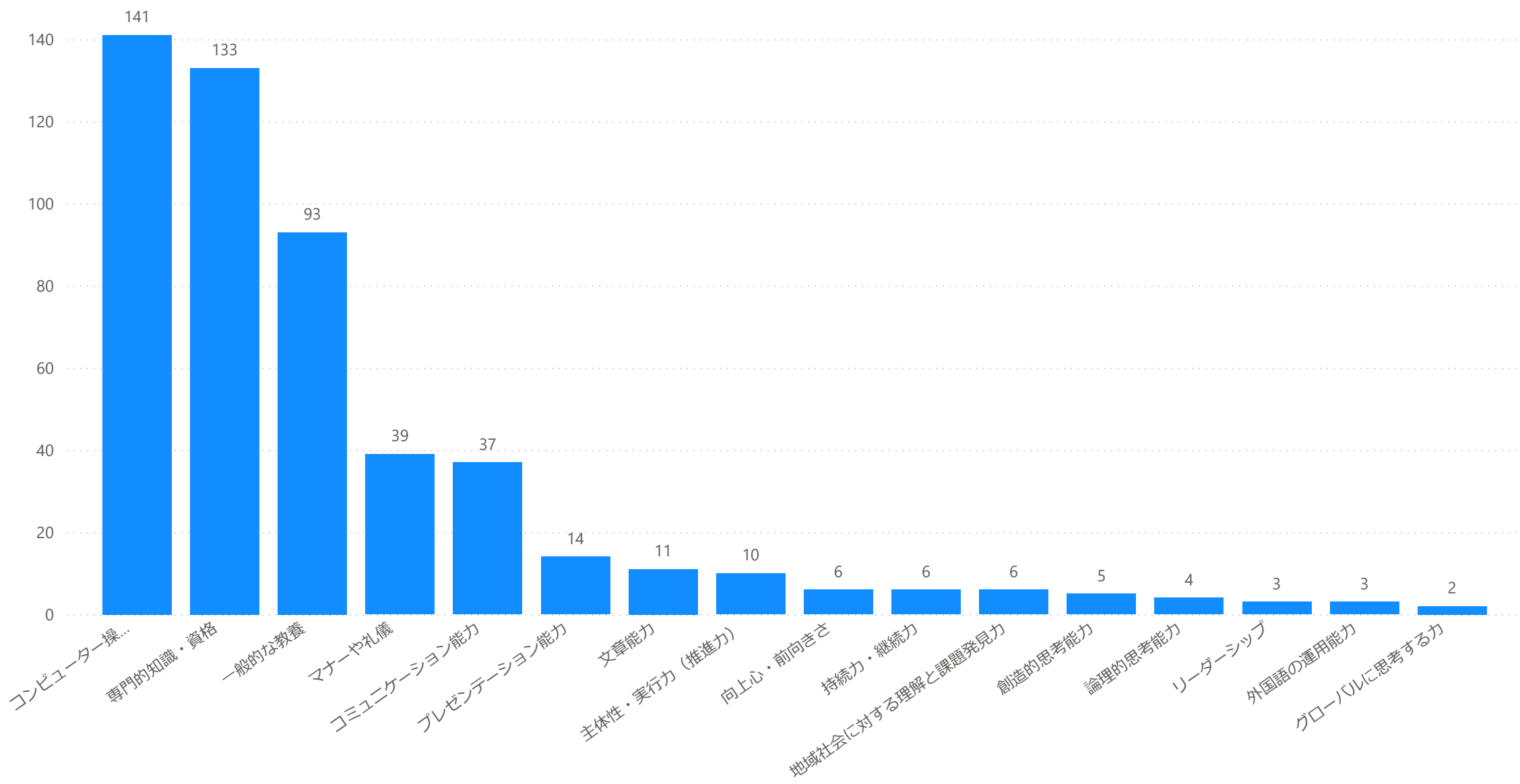


地域と関わった活動



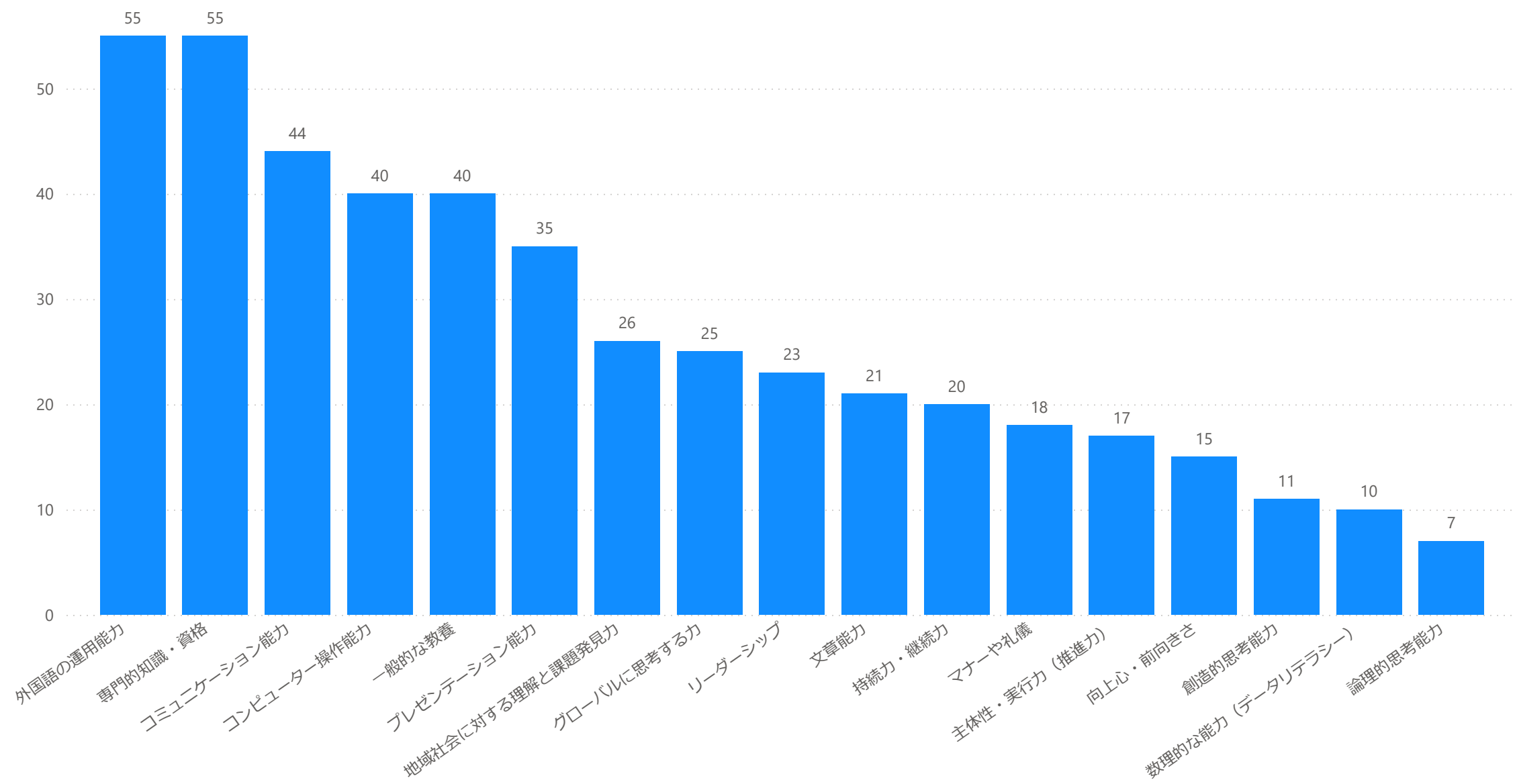
Q. 短大で身についたと思う能力や態度を教えてください。

身についた能力



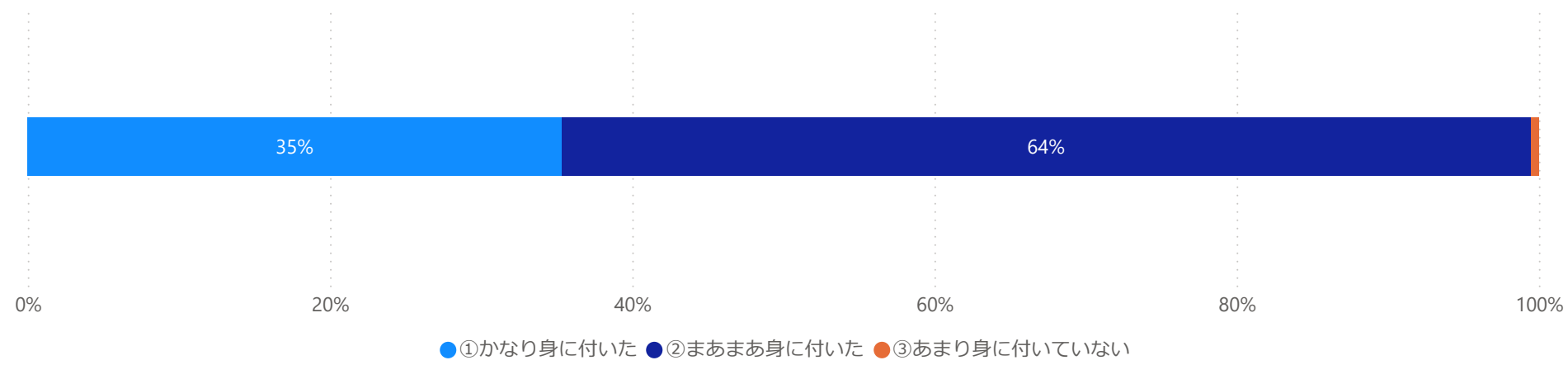
Q. 短大で身につけたかったと思う能力や態度を教えてください

身につけたかった能力

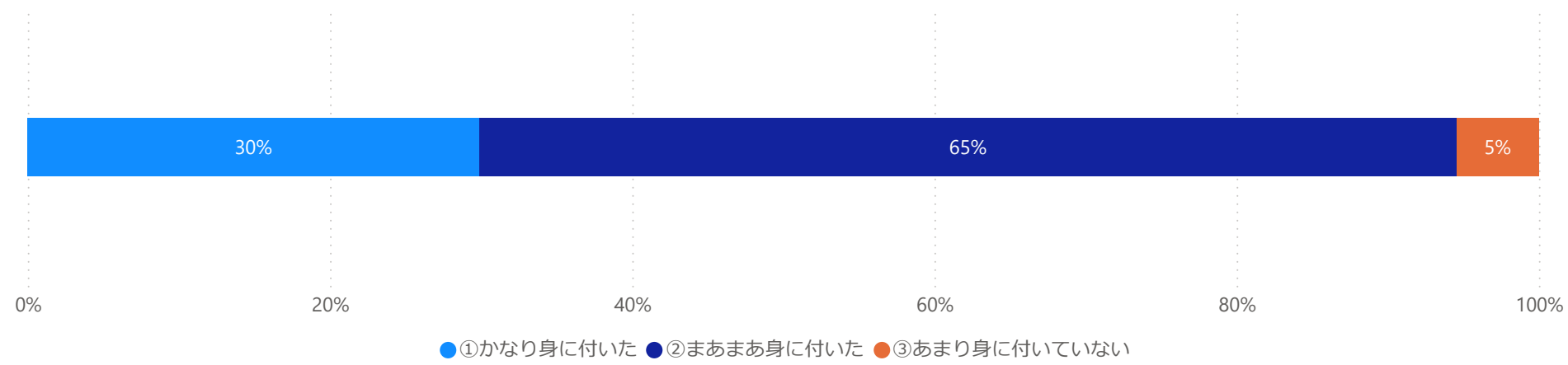


Q. 松商短大のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）①～③について、ご自身の達成度を教えてください

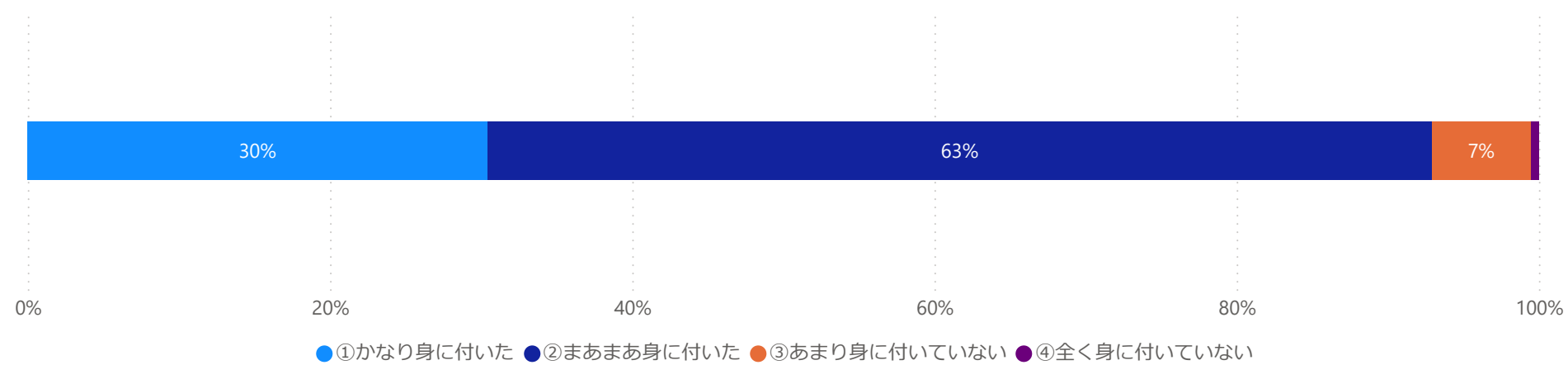
基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての知識や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる



身に付けた知識や技術を活用し、立場の違う人ともコミュニケーションを図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる

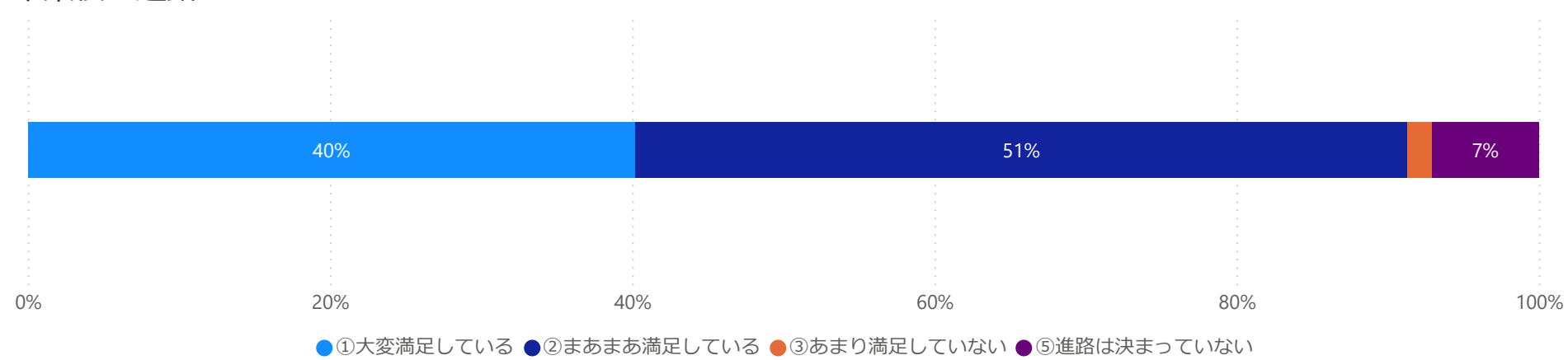


身に付けた知識や技術を、実社会の職業や生活と結びつけることで興味や関心を持ち続け、主体的に行動することができる



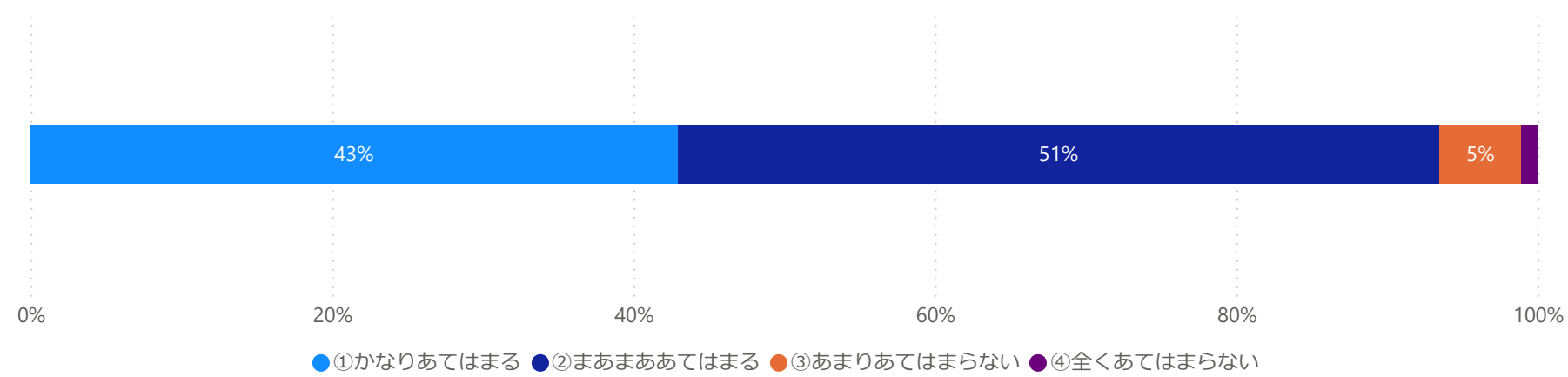
Q. あなたは、卒業後の進路にどの程度満足していますか

卒業後の進路

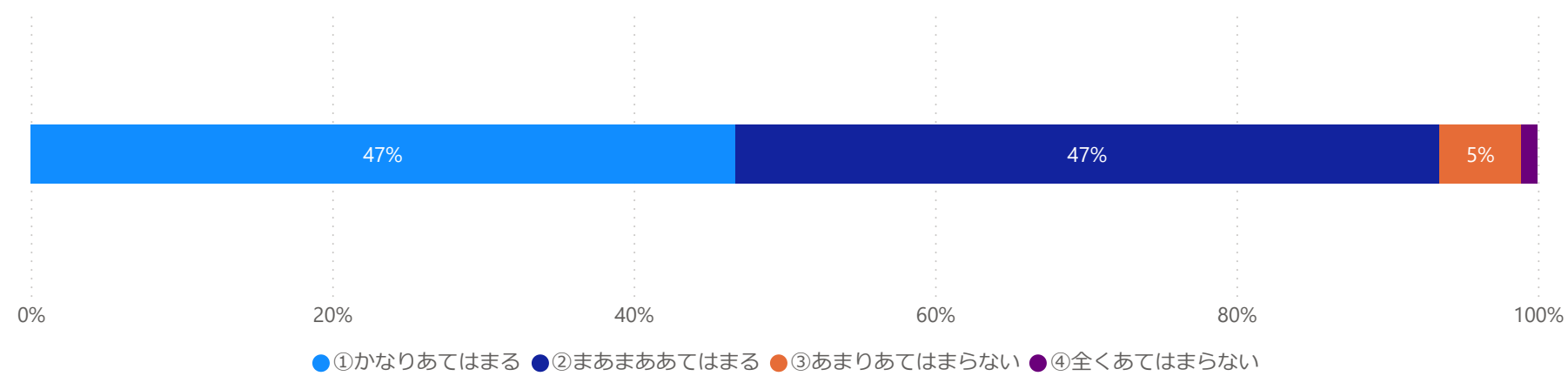


Q. 短大生活全体について、以下の点を教えてください

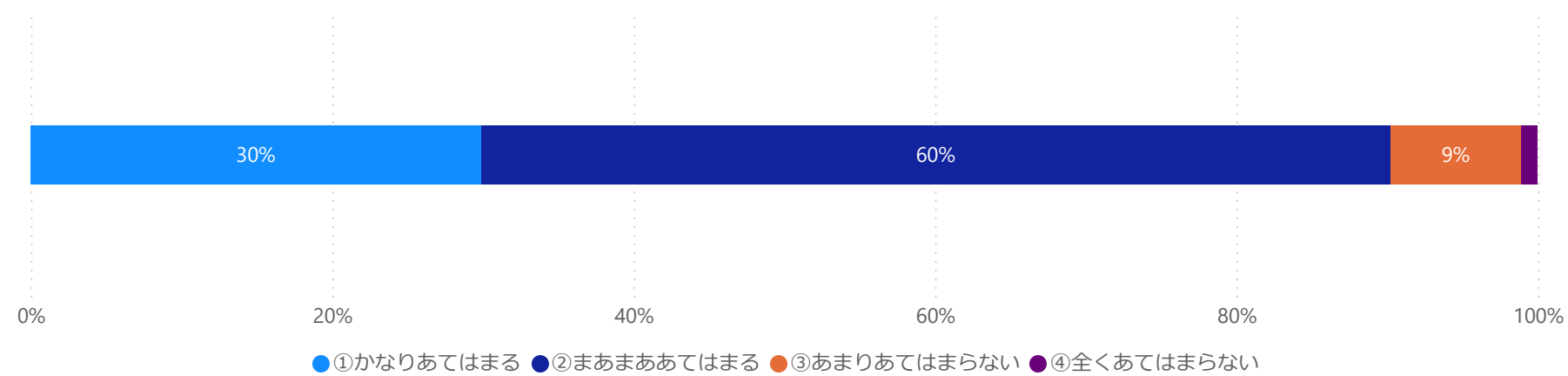
短大生活は充実していた



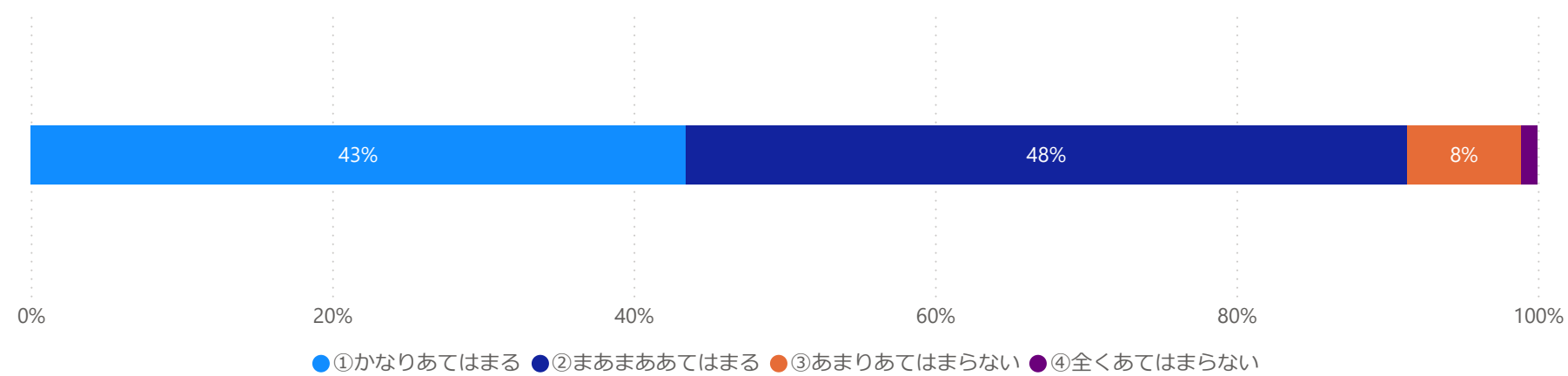
松商短大に入学してよかった



松商短大を誇りに思う



短大の学びは進路選択に役に立ったか



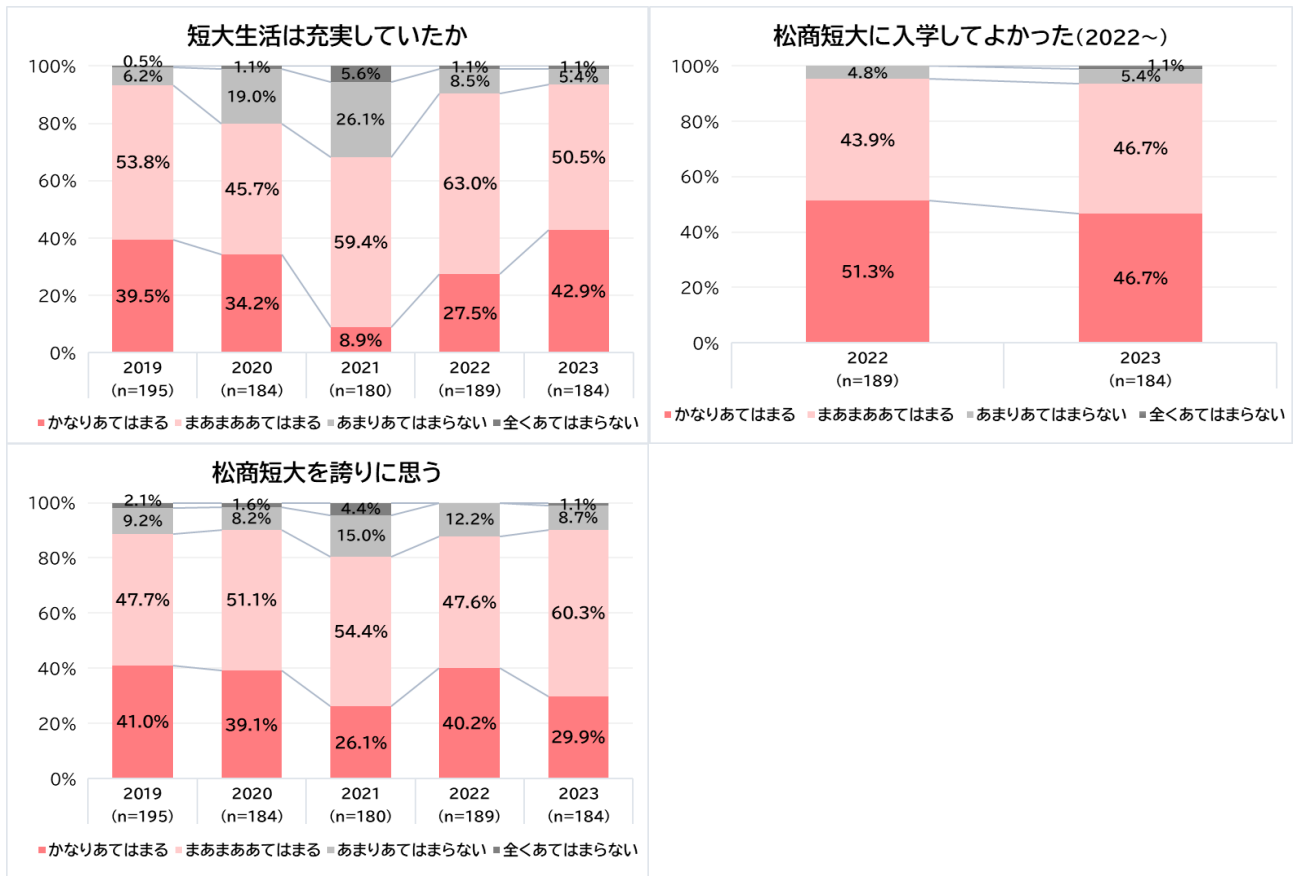
5. 結果の詳細

1) 全体満足度について

短大生活全体の満足度を測る設問として 3 項目を設置している。

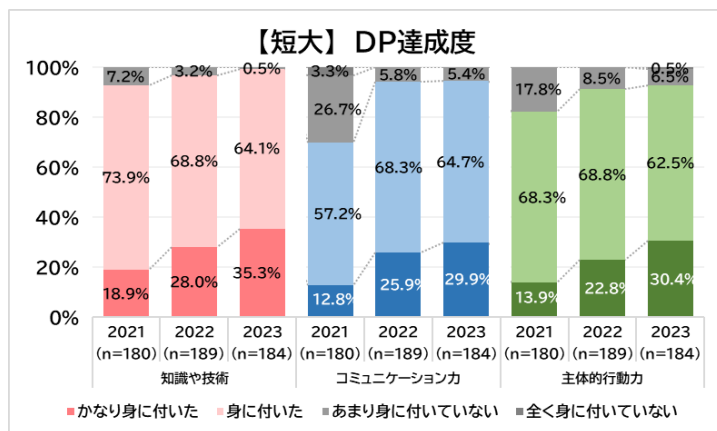
全項目で「かなりあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した学生は9割を超えており、高い満足度が得られたことが確認できた。さらに、「短大生活は充実していたか」の内訳をみると「かなりあてはまる」と回答した学生は 42.9%で、前年度より 15.4 ポイント増加していた。

なお、この短大生活全体の満足度は、コロナウイルス感染症流行前の2019年度並みであり、自由記述の内容をみると「多岐にわたる学習に触れられ、視野が広がった。」や「コロナの影響でできなかったこともあるが、全体的には満足。良い学生生活が送れた。」との肯定的な意見が確認できた。



2) 松商短大ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)の達成度

松商短大のDPの達成度を測る設問では、DPの①～③すべての項目で「かなり身に付いた」「身に付いた」と回答した学生が9割を超え、過去最高となった。2021年度入学生より3ポリシーの変更に伴い、DPの育成と評価を意識した教育が順調に効果を発揮していることが確認された。

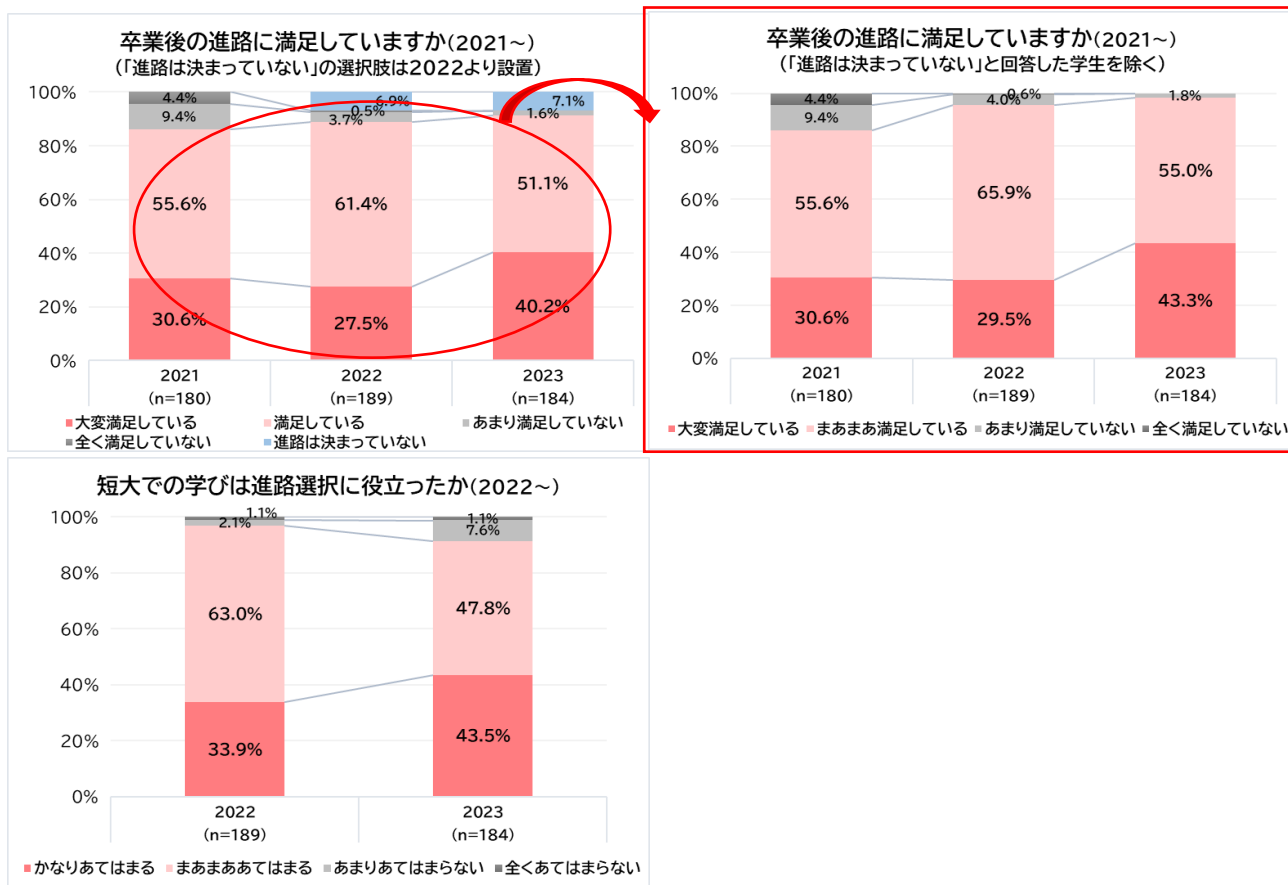


3) 短大の教育内容と進路選択について

卒業後の進路の満足度を測ると共に、社会ニーズと本学での教育内容が一致しているかを測る設問として設置している。

「卒業後の進路に満足していますか」の設問に対し、「大変満足している」「まあまあ満足している」と回答した学生は98.3%となり、前年度より2.9ポイント増加した(ただし、進路は決まっていないと回答した学生は母数から除く)。さらに、内訳をみると「大変満足している」と回答した学生は43.3%で、前年度より13.8ポイント増加した。

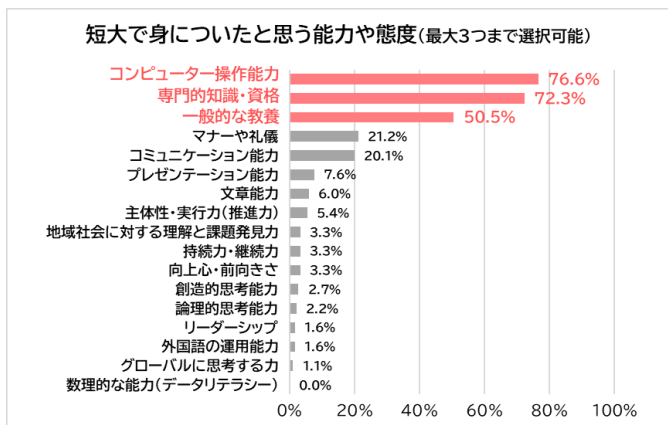
また、「短大での学びは進路選択に役立ったか」の設問に対し、「かなりあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した学生は91.3%となり、前年度より5.6ポイント減少したものの、内訳をみると「かなりあてはまる」と回答した学生は43.5%で、前年度より9.6ポイント増加していた。



4)学修成果について

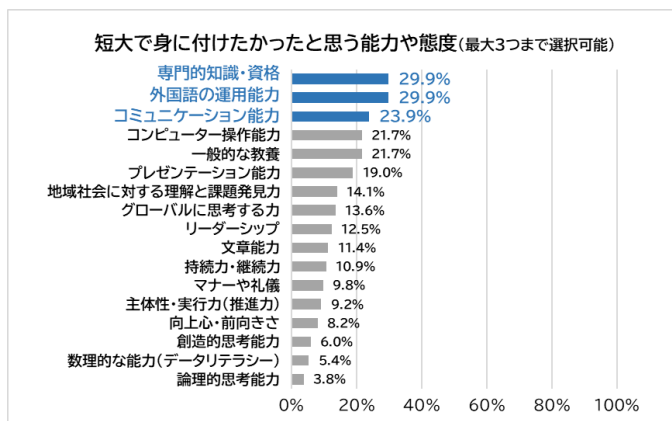
2022年度より「短大で身についたと思う能力や態度」について、全17の要素を挙げ確認している。また、逆に「短大で身に付けたかったと思う能力や態度」についても、同じ要素を用いて確認している(どちらの設問も一人最大3つまで選択可能)。

①短大で身についたと思う能力や態度



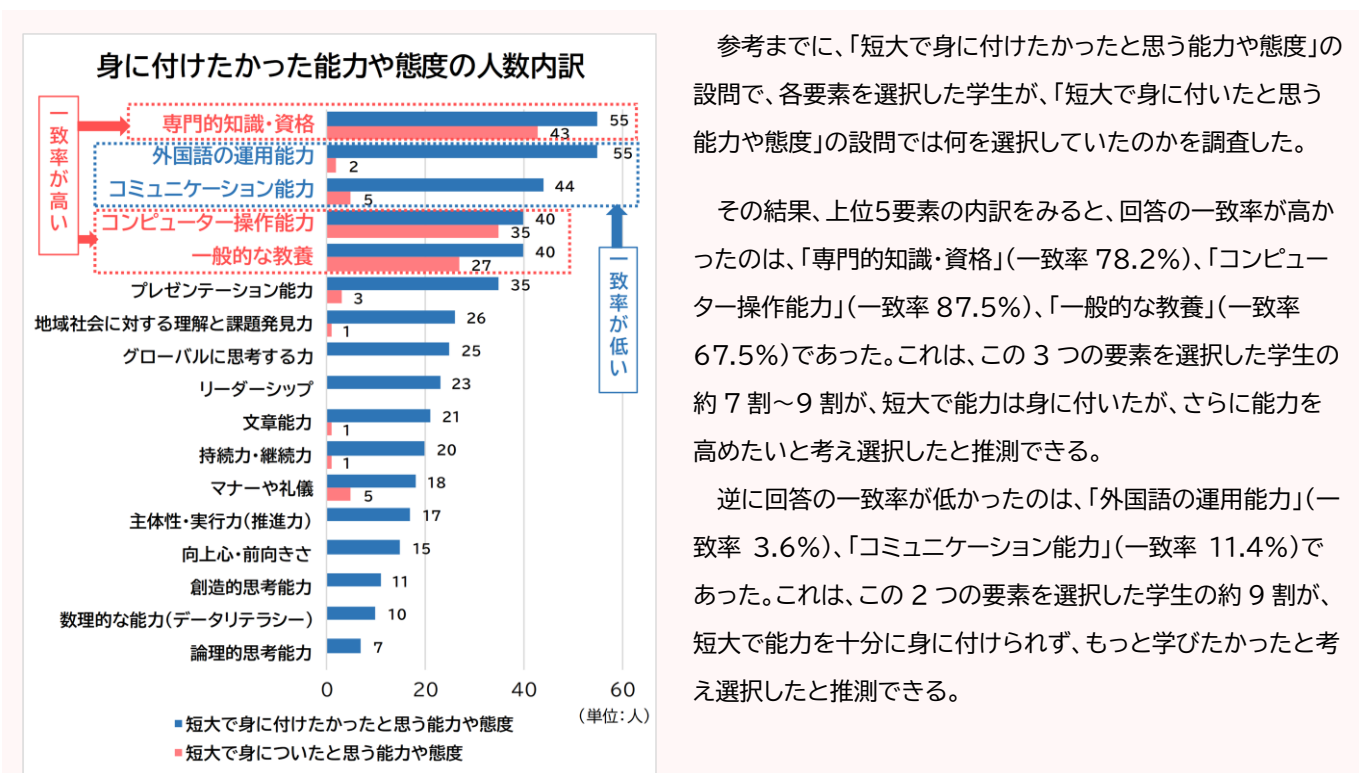
「コンピューター操作能力」が 76.6%と最も高く、次いで「専門的知識・資格」が 72.3%、「一般的な教養」が 50.5%となった。なお、この3要素は前年度も同じ順位で上位を占めていた。

②短大で身に付けたかったと思う能力や態度



「専門的知識・資格」と「外国語の運用能力」が 29.9%と同率で最も高く、次いで「コミュニケーション能力」が 23.9%となった。なお、上位に挙げられている要素で前年度と共通するものは「外国語の運用能力」と「コミュニケーション能力」である。

前年度も同様だが、身に付いた能力と比べると、身に付けたかった能力は偏りが少なかった。



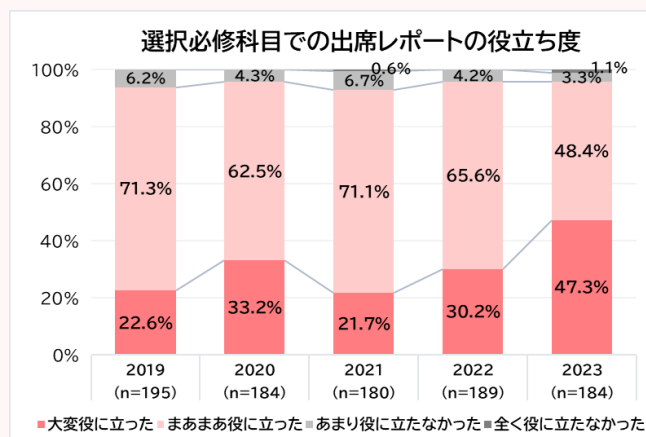
参考までに、「短大で身に付けたかったと思う能力や態度」の設問で、各要素を選択した学生が、「短大で身についたと思う能力や態度」の設問では何を選択していたのかを調査した。

その結果、上位5要素の内訳をみると、回答の一致率が高かったのは、「専門的知識・資格」(一致率 78.2%)、「コンピューター操作能力」(一致率 87.5%)、「一般的な教養」(一致率 67.5%)であった。これは、この3つの要素を選択した学生の約7割~9割が、短大で能力は身に付いたが、さらに能力を高めたいと考え選択したと推測できる。

逆に回答の一致率が低かったのは、「外国語の運用能力」(一致率 3.6%)、「コミュニケーション能力」(一致率 11.4%)であった。これは、この2つの要素を選択した学生の約9割が、短大で能力を十分に身に付けられず、もっと学びたかったと考え選択したと推測できる。

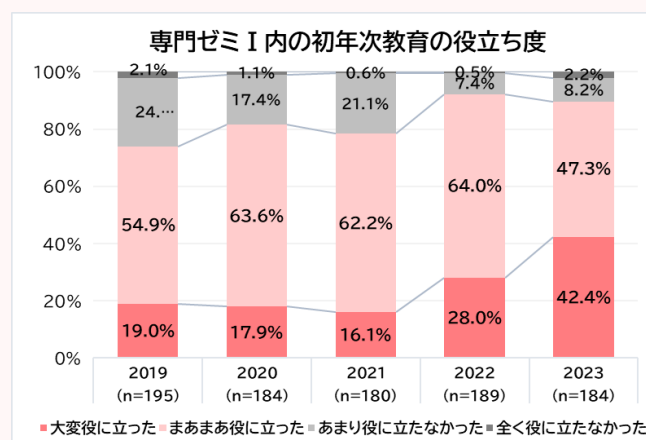
5)短大の教育・サービスについての満足度

①授業関連の満足度

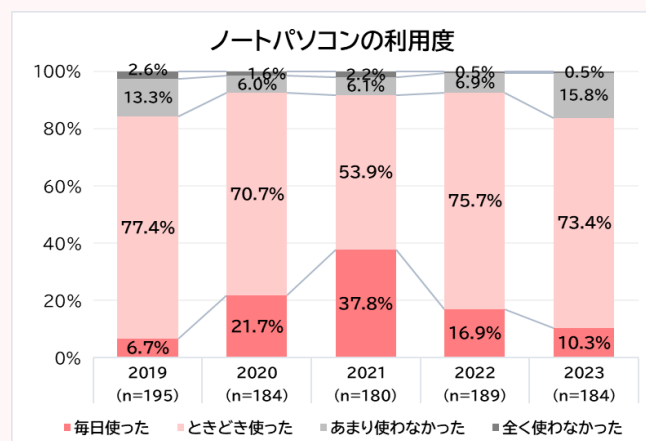


選択必修科目での出席レポートが自身の能力を伸ばす役に立ったかという設問に対し、「大役に立った」「役に立った」と回答した学生は95.7%で、例年通り高い満足度が得られたことが分かった。

特に「大役に立った」と回答した学生は47.3%で、前年度より17.1ポイントも増加し、全体の約半数を占めていた。

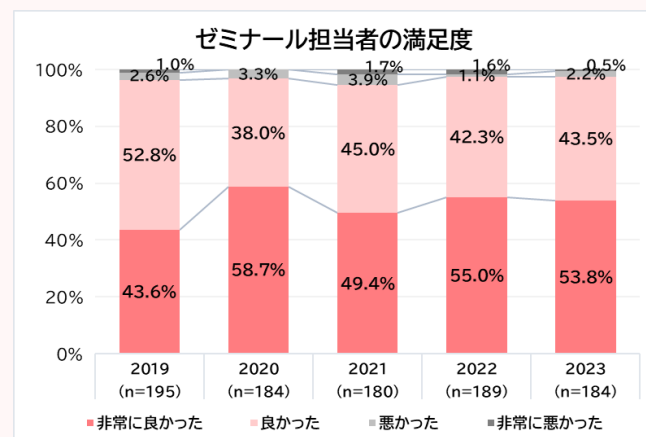


1年次の「専門ゼミナール I」の中で行われた初年次教育は、その後の授業で役立ったかという設問に対し、「大役に立った」「役に立った」と回答した学生は89.7%であった。なお、内訳をみると「大役に立った」と回答した学生は42.4%で、前年度より14.4ポイントも増加していた。



所有しているノートパソコンを学習に利用したかという設問に対し、「毎日使った」「ときどき使った」と回答した学生は83.7%で、前年度より8.9ポイント減少した。

経年変化をみると、近年の高い利用度はコロナ禍と関連があり、リモートから対面へと講義形態に戻ったことにより、コロナ前の利用度と同程度になったと推測される。

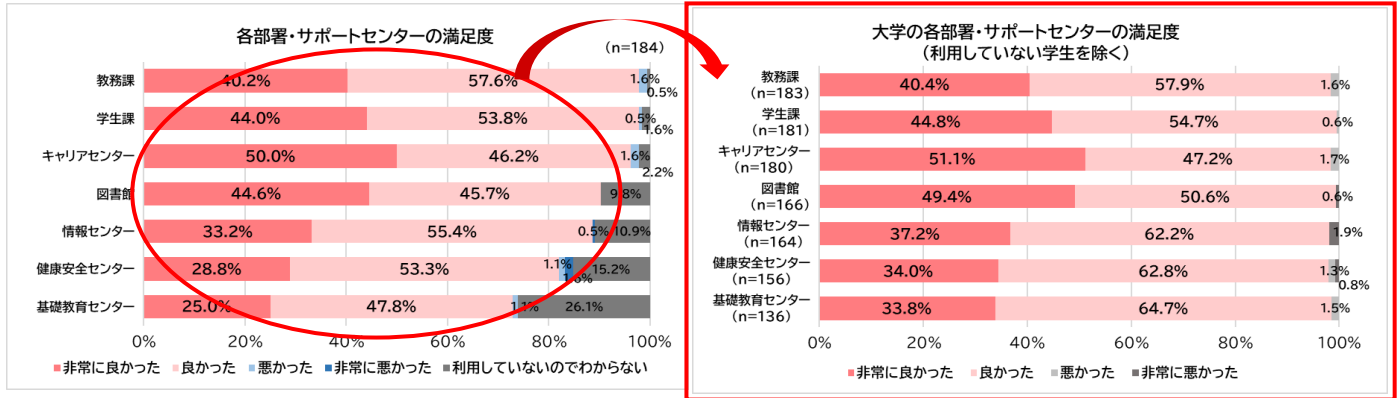


ゼミナール担当者は良きアドバイザーであったかという設問に対し、「非常に良かった」「よかった」と回答した学生は97.3%で、例年通り高い満足度が得られたことが分かった。

②各部署・サポートセンターの利用度および満足度

各部署・サポートセンター等について全7項目を設置し、その利用度および満足度を確認している。

その結果、「大変満足している」「満足している」と回答した学生は、7項目の全てで97%以上であった（ただし、「利用していないのでわからない」と回答した学生は母数から除く）。



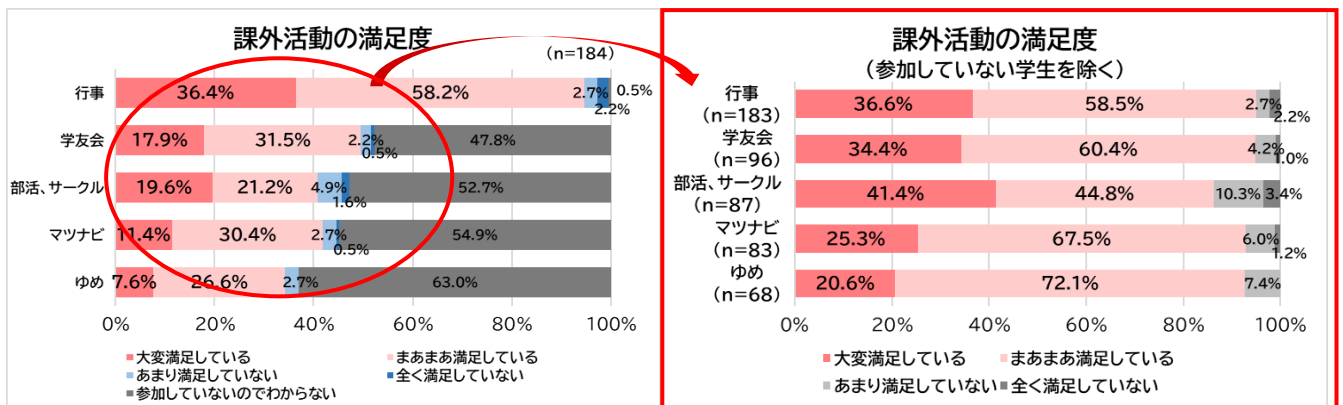
6) 課外活動の参加度および満足度

学業以外の活動の実態やその満足度を測る設問であり、本学の理念である「地域貢献」に通じる設問として設置している。

①学内関連活動

参加率については、半数を超えたのは「行事」で99.5%、次いで「学友会」が52.2%となった。半数以下では、「部活・サークル」が47.3%、「マツナビ」が45.1%、「ゆめ」は37.0%という結果であった。

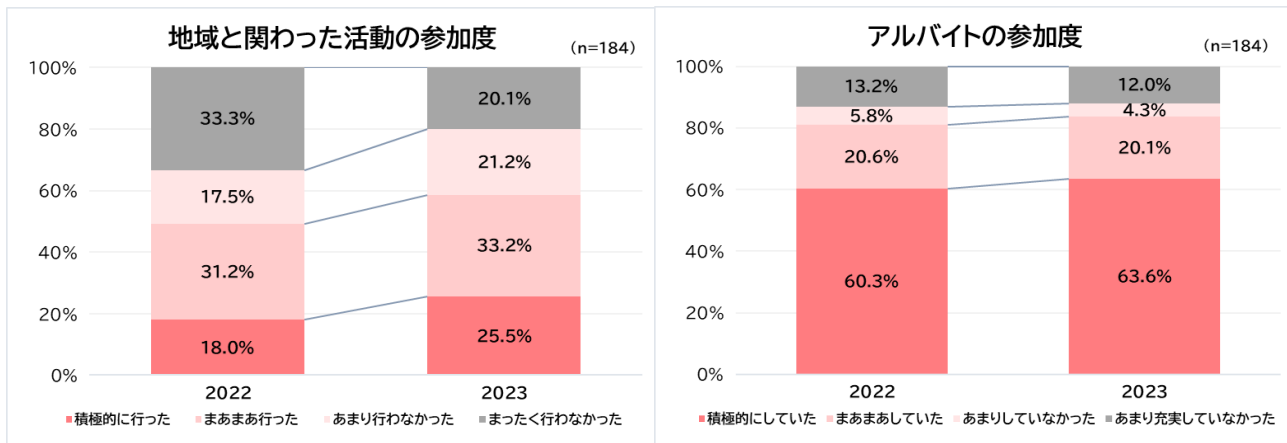
満足度については、「大変満足している」「まあまあ満足している」と回答した学生が9割を超えたのは、「部活、サークル」を除く4項目であった（ただし、「参加していないのでわからない」と回答した学生は母数から除く）。



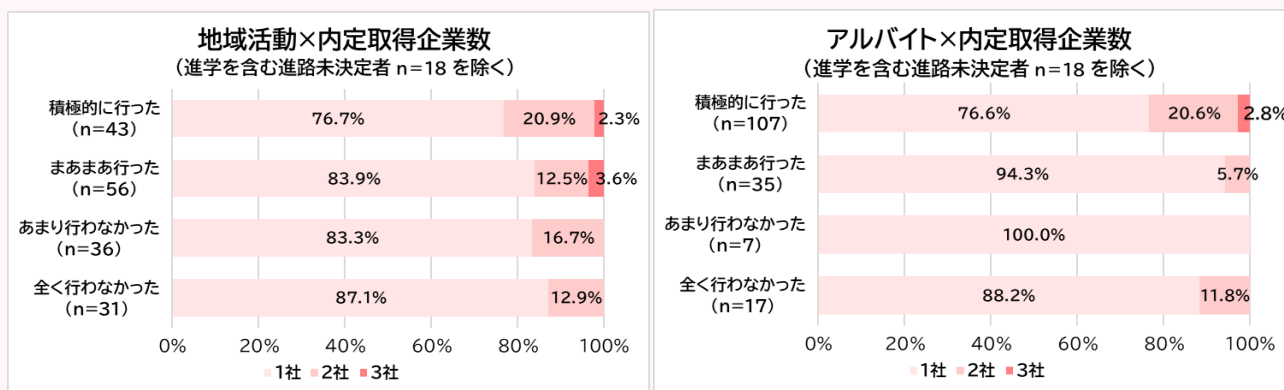
②その他活動

地域と関わった活動では、「全く行わなかった」と回答した学生は20.1%であり、約8割の学生がゼミや実習ボランティア等で地域と関わっていることがわかった。

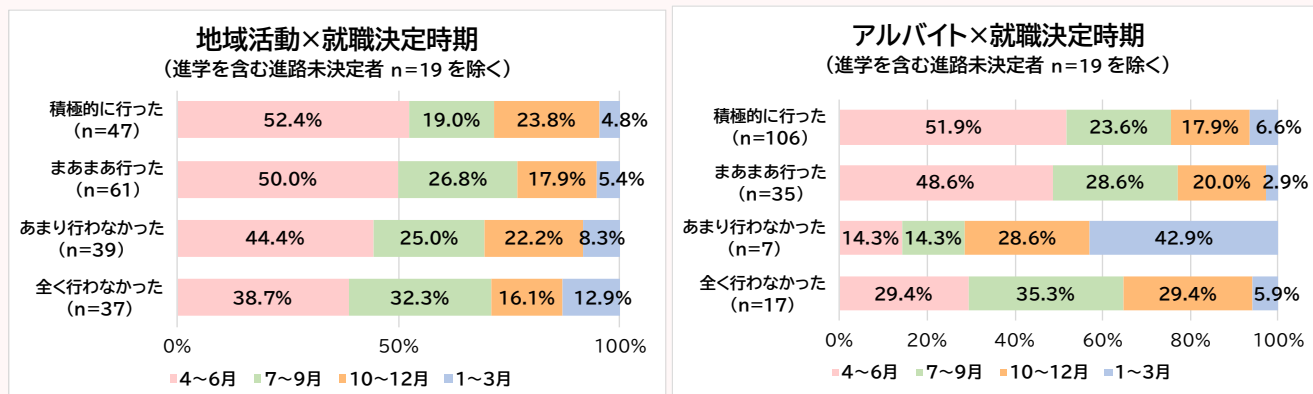
アルバイト活動では、「全く行わなかった」と回答した学生は12.0%であり、約9割の学生がアルバイトに従事していたことが分かった。



参考までに、「地域と関わった活動」と「アルバイト活動」が内定取得企業数に影響があるか、キャリアセンターで集計している就職活動に関するデータを基に相関を検証した。その結果、「地域と関わった活動」や「アルバイト活動」を積極的に行った学生の方が、内定取得企業数がわずかに多い傾向があった。



次に、「地域と関わった活動」と「アルバイト活動」が就職決定時期に影響があるか、相関を検証した。その結果、「地域と関わった活動」や「アルバイト活動」を積極的に行った学生の方が、就職決定時期が早い傾向があり、相関があることが確認された。



※就職活動に関するデータのダウンロード時期により、データに若干の差異があります。

7)自由記述(抜粋)

<短大の学び全般について>

- ・パソコン関係や簿記、マーケティングや心理学など多岐にわたる学習に触れられたのはよかった。そのおかげで今までより視野が広がったし自分が何に興味があるかを知ることができた。
- ・各施設の方、ゼミの先生、各教科の先生方など、すごく親身になってくれる方が多かったので充実した学生生活を送れた。
- ・机と椅子が勉強しづらく、短大側の駐車場が少ないのが辛かった。

<活用した部署やサポートセンターについて>

- ・どの部署も学生のことを考えてくれてありがたかった。
- ・全て非常によかった。メールを定期的を送ってくれるので仮に見落としとしても気づけた。
- ・就活の時などに学割で新幹線などにのれる紙を貰えるのは最近知ったので、入学した時に教えて欲しかった。
- ・図書館は冬にもう少し暖かいと良いと思った。

<課外活動や行事について>

- ・部活動、行事などコロナの影響でなくなってしまったものもあったが、全体的にみれば満足。楽しい行事もたくさんあり、良い学生生活を送れた。
- ・各種イベントを通してあまり関わらなかった人と関わる事が出来たので良かった。
- ・短大生は大学の方のサークルの情報を得るのが難しいと思う。

<松商短大をより良くするための意見・提案>

- ・短大で学んだことを活かせる職業を、教えて欲しいと思った。もっと学校側から教えてくれても良かったと思うし、語学の勉強も司書科目と被らなければ取りたいなと思ったが、意外と被っていて取れないものが多かった。
- ・プロジェクターが古くなっていて、講義中にトラブルが起きる事も多かったので改善してほしい。
- ・駐車場を無料で使えるようにしてほしい。
- ・第3駐車場の空車満車の状況がスマホでわかるようにしてほしい。